

【福寿茶】福寿草の苞葉のような緑味がかった茶。

福寿草は「難を転じて福となす」という南天と福寿草を寄せ植えた正月飾りでお馴染み。春を告げる花のトップランナーで、旧暦の正月頃に咲き始めることから元日草とも呼ばれる。お目でたいイメージがあるが、実は毒草である。

●目次 / contents

今月のニュース..... 2

新理事長就任挨拶／新型コロナウイルス感染症に係る支援策情報提供
フォーム設置のお知らせ／令和3(2021)年度助成要綱決定

財団からのお知らせ..... 6

令和3(2021)年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」「導入プログラム」実施団体募集／令和3年度「公共ホール音楽活性化支援事業」(支援プログラム)実施団体募集／令和3年度「公共ホール現代ダンス活性化支援事業(ダン活支援)」実施団体募集／令和3年度「公共ホール邦楽活性化事業」実施団体募集／理事会、評議員会の開催結果

今月の情報..... 8

地域通信

今月のレポート..... 12

横浜市 文化芸術創造都市横浜・臨時相談センター「YES!」

～就任のご挨拶～

一般財団法人地域創造理事長 山本信一郎

一般財団法人地域創造の理事長に就任しました山本信一郎でございます。

皆様のご支援をいただき、ともに手を携えて、文化・芸術の面から地域づくりのお役に立てるよう努力してまいりますので、何とぞよろしくご指導を賜りますようお願い申し上げます。

我が国は豊かな成熟社会の中で、文化・芸術の分野でも、たとえばクラシック音楽では若い音楽家が内外のコンクールで多くの賞を獲得するなど優秀な演奏者が数多く存在しています。演劇、美術やダンス、邦楽などの分野でもそのレベルの高さと層の厚さには目を見張るものがあります。

そういう中で、当財団の役割の第一は、良質の文化・芸術を地域にお届けし、地域の人たちが生の文化・芸術に触れることができるよう応援をすることです。特に感受性の豊かな子どものころから文化・芸術に接することは大事だと思います。私は福井の山村の生まれで、初めてオーケストラに接したのは成人してからでした。時代が変わっても、今の東京や大都市の子どもたちに比べ、地方の子どもたちは文化・芸術に触れる機会が少ない状況にあることは残念です。

当財団のプログラムは文化・芸術の提供に併せて、ワークショップ的手法を取り入れることを重視しています。公共ホール関係者、そして地域の人や子どもたちと身近に触れ合いながら一緒に考えたり、作ったりする活動です。ワークショップは、啓蒙的な側面とともに、芸術家と地域の人とともに学びあい高めあう、時には創造的なものが生まれることもある、私はいわばそれ自体が文化であると理解しています。終わった後にプロの方が、今日はいいい勉強をさせてもらったと感想を言われることもあるそうです。ワークショップの理念と手法については、常に原点に戻りつつ工夫を重ねて新たな創造性をめざしていく必要があると思います。

地域での文化・芸術活動の活発化は地域の人たちの交流や社交を促すことが期待されます。文化・芸術に触れる日はハレの日です。みんなが集まり、楽しみ、会話がはずむ。以前は祭りがそうでした。祭りも大事です。文化・芸術を核に地域の人たちの生活が豊かになる地域づくりを支援していきたいと思っています。

おわりに、新型コロナウイルス感染症はいまだ予断を許さない状況です。関係の皆様におかれましては、大変ご苦勞いただいております。当財団としましては、地域において身近で大切な文化・芸術を絶やさぬよう、皆様の声を受け止めながら、これからの時代にどのような事業をどのように展開すべきか新しい発想をもって柔軟に対応していきたいと考えています。ともに頑張りましょう。



●山本信一郎(やまもと・しんいちろう)

1950(昭和25)年福井県生まれ。1973(昭和48)年自治省入省。富山県、島根県、岡山県に勤務。自治省官房審議官(2000～)、内閣府官房長(2005～)、内閣府事務次官(2008～09)、宮内庁次長(2012～)、宮内庁長官(2016～19)を歴任。

●新型コロナウイルス感染症に係る支援策情報提供フォーム設置のお知らせ

地域創造では、新型コロナウイルス感染症により影響を受ける地域の文化・芸術活動に対して支援を行う施策に関する情報収集・発信に力を入れて取り組んでいます。

感染症対策を工夫しながら各地域で事業が再開されるなか、より一層情報の充実を図るため、当財団ホームページに「新型コロナウイルス感染症に係る支援策情報提供フォーム」を設置しました。お寄せいただいた情報は、当財団ホームページ内の「新型コロナウイルス感染症関連情報」へ掲載します。前号(*)でご紹介した都道府県および政令指定都市における取り組みに限らず、市区町村を含む全国の地方公共団体における支援策等の情報を広く発信し、今後の施策検討にご活用いただける情報のプラットフォームとして整備してまいりたいと考えています。

●新型コロナウイルス感染症に係る支援策一覧

※前号(*)でご紹介した「新型コロナウイルス感染症に係る支援の取り組み(都道府県・政令指定都市)」の追加情報として、6月1日以降、情報提供のあった支援策をまとめました。紙面の都合上、都道府県・政令指定都市の取り組みに限定していますが、当財団ホームページでは市区町村等の取り組みも含めて紹介しています。

団体名	支援策名称	概要	担当部局
富山県	新型コロナ対応舞台芸術開催事業	新型コロナウイルスの影響により、多くの団体の舞台公演などの発表の場が延期・中止となるなか、舞台鑑賞を楽しみにしている県民に鑑賞する機会を新しく創出するとともに、会場に足を運ぶことのできない方にもその舞台をウェブ等で映像配信することで、芸術文化活動を支援する。	生活環境文化部 文化振興課
富山県	富山県芸術文化活動再開モデル応援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により活動を縮小または休止を余儀なくされている芸術文化団体・個人の活動再開支援のため、ウェブ等を活用したりモット教室などのモデル・仕組みづくりに取り組み、各団体が容易に導入できることを目指す。	生活環境文化部 文化振興課
富山県	「新しい生活様式」対応型 舞台芸術活動支援事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動の縮小や公演の中止を余儀なくされている芸術文化団体等の舞台芸術活動の再開、継続を支援するため、広く県民の鑑賞を目的とする舞台芸術公演を開催する芸術文化団体等に対し、会場等の使用料を補助する。 http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1718/kj00022291.html	生活環境文化部 文化振興課
兵庫県	芸術文化公演再開緊急支援事業	感染拡大予防ガイドラインを遵守して芸術文化公演等を実施する場合の施設使用料1/2相当額を県・市町が支援し、芸術文化活動の再開を推進する。 [助成期間] 7月1日～12月31日 [対象施設] 県下の公立および民間立の劇場・音楽堂等(収容人数100人規模以上で、固定された座席・舞台・ステージを設置している一般利用施設) [対象公演] 舞台芸術の公演およびそれに伴う練習 https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona/documents/geijyutukouenshien.pdf	企画県民部知事 公室芸術文化課 ※窓口は兵庫県 芸術文化協会

各地方公共団体等の皆様におかれましては、新たに整備された支援策等の情報提供にご協力くださいますようお願いいたします。

◎対象となる情報

地方公共団体等(※)による文化・芸術分野への支援策

※公益法人等への委託・補助等により実施している支援策も含まれます。

◎新型コロナウイルス感染症に係る支援策情報提供フォーム

当財団ホームページより情報提供フォームにアクセスいただき、ご入力ください。

<https://www.jafra.or.jp/event-request/05/>

※提供いただいた情報は、実施期間にかかわらず情報発信を行います。

※原則、毎月第2・4金曜日に情報発信予定です(前日までに提供いただいた情報が対象)。

◎新型コロナウイルス感染症関連情報ページ

<https://www.jafra.or.jp/docs/6836.html>

●新型コロナウイルス感染症に係る支援策情報提供に関する問い合わせ
芸術環境部 児島・崎山・吉川
Tel. 03-5573-4183

*前号(2020年7月号)に、都道府県および政令指定都市において令和2(2020)年度補正予算(5月30日までの議決分)により講じられた措置について掲載しています。

●2020年9月30日(水)まで申請受け付け

令和3(2021)年度助成要綱が決定

令和3(2021)年度 助成要綱決定

「地域の文化・芸術活動助成事業」は、地方公共団体等の自主事業の企画制作能力の向上および公立文化施設の利活用の推進等を図るため、地域において自主的に実施する文化・芸術活動を支援するものです。

また、「地域伝統芸能等保存事業」は、地方公共団体等が実施する、各地域固有の伝統芸能等の記録・保存・継承事業に対して助成するものです。

募集締切：2020年9月30日(水)

●地域の文化・芸術活動助成事業

[1]創造プログラム

◎一般分

地域の活性化に寄与する長期的展望を有し、発展的・継続的に事業を実施する上で他の地域の参考となるような顕著な工夫が認められる事業(2年もしくは3年間の助成。ただし、各年度の申請を審査した上で決定)。

◎企画制作力向上特別分

都道府県・政令指定都市が行う自主事業の

企画制作力の向上や、他施設への波及効果をもたらす単年度の事業。

※創造プログラム(一般分)とは別枠で利用可能。

[2]連携プログラム

地方公共団体等が単独では実施できず、経費削減など連携することにより初めて実施できるもので、3以上の地方公共団体等が連携して共同で制作する事業や、そのために行う連絡調整に係る事業(原則1年間。ただし、連絡調整に係る事業は、翌年度の公演等の助成も可能)。

[3]研修プログラム

公立文化施設等で企画運営に携わる職員や「地域文化コーディネーター」など地域の文化・芸術活動を担う者のスキルの向上、ノウハウの習得などを目指す実践的な人材育成事業(1年間)。

[4]公立文化施設活性化計画プログラム

公立文化施設の地域において果たすべき役

●各事業の詳細については、実施要綱をご確認ください。各実施要綱および申請書類は、当財団のホームページからダウンロードできます。
<https://www.jafra.or.jp/docs/6850.html>
※申請書は、都道府県・政令指定都市が管内の市区町村等の分を取りまとめて、地域創造へ提出してください。各市区町村等においては、都道府県等のとりまとめ団体の期限も確認し提出してください。

●「地域の文化・芸術活動助成事業」に関する問い合わせ
総務部 渡辺
Tel. 03-5573-4164

●「地域伝統芸能等保存事業」に関する問い合わせ
総務部 山本
Tel. 03-5573-4056

事業名		分野	事業実施者			
			地方公共団体			指定管
			都道府県	政令指定都市	市区町村	特定指定 管理者(※) 注1
地域の文化・芸術 活動助成事業	[1]創造プログラム (一般分)	音楽 演劇 ダンス 伝統芸能 美術 等	○	○	○	○
	創造プログラム (企画制作力向上特別分)				×	都道府県・政令指定
	[2]連携プログラム				○	○
	連絡調整事業				○	○
	[3]研修プログラム	/	○	○	○	○
	[4]公立文化施設活性化計画プログラム					
地域伝統芸能等 保存事業	[1]地方フェスティバル事業	地域伝統芸 能等	○	○	○	○
	[2]映像記録保存事業		×	○	○	×
	[3]保存・継承活動支援事業		×	○	○	×

▼— 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

割と、それを実現するための方策を登載した計画を策定する事業。

●地域伝統芸能等保存事業

[1] 地方フェスティバル事業

地方公共団体等が実施する、地域固有の伝統芸能等を保存・継承するための公演事業に対して助成する事業。

[2] 映像記録保存事業

市区町村が実施する、各地域の失われつつあり、かつ記録に残されていない地域固有の伝統芸能等を映像に記録・保存する事業に対して助成する事業。

[3] 保存・継承活動支援事業

市区町村が実施する、地域固有の伝統芸能等の保存・継承のために活動している団体等への支援事業に対して助成する事業。

(参考) 令和2(2020)年度

「地域の文化・芸術活動助成事業」採択実績

	申請事業数	決定事業数
創造プログラム(一般分)	75	65
創造プログラム (企画制作力向上特別分)	31	25
連携プログラム	38	38
研修プログラム	14	13
活性化計画プログラム	0	0
合計	158	141

(参考) 令和2(2020)年度

「地域伝統芸能等保存事業」採択実績

	申請事業数	決定事業数
地方フェスティバル事業	14	13
映像記録保存事業	9	9
保存・継承活動支援事業	27	27
合計	50	49

			会場	助成措置			申請期限
理者	特定公益法人(※) 注1	実行委員会等 注3		助成率	助成の上限額 (1年ごと1団体ごとの金額)	対象期間	
一般指定 管理者(※) 注2							
○	○	○	原則として、当該申請団体の区域内に所在する公立文化施設	1/2以内	1,000万円	2年 もしくは3年	2020年9月30日(水)必着
都市に係る指定管理者、特定公益法人、実行委員会等 ○						1年間	
○	○	○		2/3以内	500万円 ※連携する事業全体で3,000万円	1年間	
		100万円			事業前年1年間		
○	○	×	2/3以内	200万円	1年間		
		×	2/3以内	200万円	2年以内		
○	○	○ (保存会も含む)	原則として、当該申請団体の区域内に所在する公立文化施設	1/2以内	都道府県等：200万円 市区町村等：50万円	1年間	
×	×	×	2/3以内	200万円			
				1/2以内	30万円		

左表脚注

※
特定指定管理者とは、地方公共団体が1/2以上出資している公益財団法人等で指定管理者の指定を受けているものをいう。
一般指定管理者とは、上記以外の指定管理者をいう。
特定公益法人とは、地方公共団体が1/2以上出資している公益財団法人等で地域創造が特に認めたものをいう。

注1
設置者である地方公共団体の長の副申書を添付

注2
設置者である地方公共団体の予算を経由して間接的に助成

注3
地方公共団体が実行委員会等に対して負担する額を助成対象

財団からのお知らせ

●令和3(2021)年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」(導入プログラム)実施団体募集

公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)は、オーディションで選ばれたクラシック音楽のアーティストと専門家のコーディネーターを公共ホールに派遣し、ホールとアーティストが共同で企画した学校や福祉施設等での地域交流プログラムやコンサートを実施することにより、公共ホールの利活用の促進やホールスタッフの企画・制作能力の向上、創造性豊かな地域づくりを支援するものです。アーティストは下記「登録アーティスト」より選定していただきます。

募集締切:2020年9月25日(金)必着

◎対象団体

- ①市町村(特別区を含み、政令指定都市を除く)
- ②市町村の公共ホール指定管理者 など

◎対象アーティスト

公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)登録アーティスト

◎事業内容

3日間の連続した日程で、次の事業を実施する。
[地域交流プログラム]学校や福祉施設等でのミニコンサートやワークショップなど、地域との交流を図る事業 4回(1日につき2回)
[公演]公共ホールで開催する有料のクラシック音楽コンサート 1回

◎経費負担・支援内容

演奏家派遣経費(出演料、現地移動費を除く交通費、宿泊費等)/地域交流プログラムに係る経費(主にピアノ調律費:10万円限度)/コーディネーターの派遣/全体研修会(事業実施に必要なノウハウ等の研修)および個別研修(現地下見)の実施

●令和3(2021)年度「公共ホール音楽活性化支援事業」(支援プログラム)実施団体募集

公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)経験団体を対象とした、最大5カ年まで実施可能なフォローアッププログラムです。おんかつで得たノウハウを活用し、引き続き同様の事業を行う市町村等に対して財政的に支援します。登録アーティストのプロフィール等の資料は、対象団体に送付させていただきます。

募集締切:2020年9月25日(金)必着

◎対象団体

おんかつを過去に実施した市町村等

◎対象アーティスト

公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト

◎支援内容

以下の①②に係る経費を地域創造が助成します。
※対象経費上限は100万円。助成割合(支援事業実施1回目:2/3以内、2回目以降:1/2以内)は過去のおんかつ等事業実施状況を勘案し決定。

①演奏家に係る経費

出演料およびマネジメント料(上限あり)、交通費(現地移動費を除く)、宿泊費、日当、楽器運搬費、損害保険料

②地域交流プログラムおよび公演に係る経費

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

※中止となったプレゼンテーション(*)の代替として、登録アーティストの演奏の様子やメッセージを収録した動画を現在作成中です。おんかつ支援プログラムの対象団体で、ご興味のある団体は地域創造までお問い合わせください。

*例年、「地域創造フェスティバル」にて実施しているプレゼンテーションを、今年度は緊急事態宣言の下、中止としました。

●おんかつ(導入プログラム・支援プログラム)の実施要綱・申込書は当財団ホームページ内からダウンロードできます。
<https://www.jafra.or.jp/project/music/01.html>

◎「公共ホール音楽活性化事業」(導入プログラム)に関する問い合わせ
芸術環境部 山之内
Tel. 03-5573-4078
onkatsu@jafra.or.jp

◎「公共ホール音楽活性化支援事業」(支援プログラム)に関する問い合わせ
芸術環境部 菅
Tel. 03-5573-4069

2020・2021年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」登録アーティスト



©Takumi Jun
さいとう かずや
齊藤 一也 [ピアノ]



©Kojan István
いしがみ まゆみ
石上 真由子 [ヴァイオリン]



©山岸 葵
うめつ みどり
梅津 碧 [ソプラノ]



©武藤 章
たけだ みちこ
竹多 倫子 [ソプラノ]



©FUKAYA Yoshinobu/aura Y2
にいの まさゆき
新野 将之 [打楽器]



©Yosuke Sato
たかはし じつかわ
高橋 トレミ&實川 風 [ピアノデュオ]

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

●令和3(2021)年度「公共ホール現代ダンス活性化支援事業(ダン活支援)」実施団体募集

公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)実施団体を対象としたフォローアッププログラムです。ダン活で蓄積したノウハウを活用し、引き続き同様の事業を自主的に行う地方公共団体等に対し、財政的な支援を行います。

募集締切: 2020年9月24日(木) 必着

◎対象団体

- ダン活のAプログラム(地域交流プログラム)、Bプログラム(市民参加作品創作プログラム)、Cプログラム(公演プログラム)のすべてを実施した地方公共団体等
- ダン活のAプログラムおよびBプログラム、またはAプログラムおよびCプログラムを実施した地方公共団体等

◎対象アーティスト

公共ホール現代ダンス活性化支援事業登録アーティスト(25組)

◎支援内容

以下の①②に係る経費の1/2以内の額を1年間の補助成します。

①対象アーティスト等派遣経費

対象アーティスト、アシスタント、テクニカルスタッフ等の出演料等(助成対象上限あり)、交通費(現地移動費を除く)、宿泊費、日当、損害保険料

②公演負担金

公演実施に係る経費(助成対象上限あり)

※助成上限額等の詳細については要綱をご確認ください。

●令和3(2021)年度「公共ホール邦楽活性化事業」実施団体募集

公共ホール邦楽活性化事業は、平成21(2009)年度から都道府県を対象に実施した「邦楽地域活性化事業」を、市町村対象に変更し刷新した事業です。令和元(2019)年度からの2年間はモデル事業として、計6市町で事業を実施しています(うち1団体は新型コロナウイルス感染拡大防止のため本番中止)。令和3年度からは実施団体を公募し、事業を本格始動します。

制度の変更に伴い、地域交流プログラム(アクティビティ)4回、ホールプログラム1回の実施を基本とします。アクティビティの対象は学校に限定せず、アイデア次第で地域のさまざまな場所に邦楽を届けることが可能となりま

す。ホールプログラムは、有料コンサートと公募型ワークショップのどちらかを選択でき、地域に合ったプログラムを実施できます。

演奏家は、これまでの邦楽地域活性化事業に参加経験のある多彩な演奏家の中から、希望の演奏家またはジャンルを選択いただきます。演奏家の情報をまとめたアーティストプロフィールをご覧になりたい方は右記担当までお問い合わせください。

経験豊富なコーディネーターや演奏家を公共ホールに派遣し、共同で企画を進めることで、地域において邦楽事業を担う人材育成にも繋がります。邦楽を通じた創造性豊かな地域づくりにぜひこの事業をご活用ください。

募集締切: 2020年9月25日(金) 必着

◎対象団体

- ①市町村(政令指定都市を含む)
- ②市町村の公共ホールの指定管理者など
- ③文化・芸術活動の振興に資する目的で設立された公益財団法人等で市町村が出資しているもの

◎事業内容

[地域交流プログラム(アクティビティ)]計4回
演奏家が学校や福祉施設等を訪れ、ミニコンサートや参加体験型のワークショップを行います。

[ホールプログラム]1回

公共ホール等で、コンサートまたは公募型ワークショップを実施します。コンサートは有料公演とし、入場料収入は実施団体に帰属します。

[全体研修会の実施について]

当事業を担当する職員に参加いただき、当事業の基本的な考え方や邦楽分野の企画・制作の進め方を学ぶとともに、コーディネーター等を交えた企画相談を行うことができます。

◎経費負担

- ①演奏家派遣に係る経費
- ②コーディネーター派遣に係る経費
- ③地域交流プログラム負担金(楽器運搬費など)

※詳細は実施要綱等をご確認ください。



令和元年度 東松山市民文化センターでのホールプログラム

●各事業の実施要綱・申込書は当財団ホームページ内からダウンロードできます。

「公共ホール現代ダンス活性化支援事業」
<https://www.jafra.or.jp/project/dance/01.html>

「公共ホール邦楽活性化事業」
<https://www.jafra.or.jp/project/music/04.html>

●「公共ホール現代ダンス活性化支援事業」に関する問い合わせ
芸術環境部 畑
Tel. 03-5573-4075
E-mail: dankatsu@jafra.or.jp

●「公共ホール邦楽活性化事業」に関する問い合わせ
芸術環境部 永田
Tel. 03-5573-4076

●理事会、評議員会の開催結果

第129回理事会(書面開催)および第90回評議員会(6月24日開催)の決議により、令和元年度決算書、事業報告および公益目的支出計画実施報告書が承認されました(財務諸表および事業報告等は当財団ホームページに掲載)。第90回評議員会では、任期満了に伴い理事12名、監事2名の選任が行われました。なお、板倉敏和理事長、逢坂恵理子理事および白崎徹也理事は、任期満了に伴い6月24日をもって退任しました。

また、第130回理事会(6月25日開催)の決議により、山本信一郎理事が理事長として選定(新任)されるとともに、高尾和彦理事が常務理事として選定(再任)されました(役員等の一覧は当財団ホームページに掲載)。

地域通信

●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック

[北海道・東北]北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
[関東]茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
[北陸・中部]新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
[近畿]三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
[中国・四国]鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
[九州・沖縄]福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4066
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当 崎山・児島

●2020年10月号情報締切
8月31日(月)

●2020年10月号掲載対象情報
2020年10月～12月に開催もしくは募集されるもの

●地域通信欄掲載情報について

文化施設が再開し始め、オンラインを活用しながらイベントを実施する取り組み等が増えているため、すべて地域別にご紹介いたします。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となる場合や、開催内容・日程等が一部変更となる場合がございます。最新の情報は主催者の発表情報をご確認ください。

北海道・東北

●北海道函館市

北海道立函館美術館
〒040-0001 函館市五稜郭町37-6
Tel. 0138-56-6311 齊藤麗実
<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hbj/>

《道産子追憶之巻》と日本画の名品 道立近代美術館コレクション選 道産子日本画家のニューフェイス 葛西由香の世界

全長29mの大画面に描かれた岩橋英遠の《道産子追憶之巻》をはじめ、近代日本画家の黎明期を切り拓いた作家から、北海道を代表する画家まで、北海道立近代美術館が集めてきた選りすぐりの日本画計38点を展示する。また、日常のなかに潜む些細な風景を清新な日本画で表現する、網走出身の若手日本画家・葛西由香の作品も展示。コロナ対策のため、入場時に検温を行い、人数に応じて入場制限を実施して開催している。
[日程] 7月4日～8月30日
[会場] 北海道立函館美術館

●仙台市

仙台市市民文化事業団
〒984-0015 仙台市若林区卸町2-12-9
Tel. 022-782-7510 岩村空太郎
<https://www.gekito.jp/>

仙台・劇のまちトライアルシアター2020「子育ていろいろシェアリング」

仙台で子育て中の人や子どもたちを対象に演劇活動を行っている俳優と共に「子育て」をテーマとした舞台作品の創作を行う。日常で起こるさまざまなハプニングや心に残った出来事、忘れられない一言などをFacebookで募集し、短い映像作品にして随時YouTubeで公開する。最終的に、一本の演劇作品を創作し、12月の上演を目指す(構成・演出:高橋菜穂子ほか)。
[会場] せんだい演劇工房10-BOX



●福島県白河市

白河文化交流館コミネス
〒961-0075 白河市会津町1-17
Tel. 0248-23-5300 齋藤由美子
<http://cominess.jp/>

アルゼンチンタンゴ ブエノス・アイレスへの誘い

ホールの人気企画であるお昼のワンコイン・コンサート。白河市出身で、アルゼンチンタンゴの第一人者として活躍する中澤源太をダンサーとして迎える。伝統的なスタイルから現代タンゴまで、多彩なプログラムをタンゴ四重奏(バンドネオン・ヴァイオリン・ベース・ピアノ)の生演奏とともにお届けする。コロナ対策として、会場を小ホールから大ホールに変更し、余裕をもった座席配置を行う。
[日程] 7月29日
[会場] 白河文化交流館コミネス

関東

●茨城県水戸市

いばらき文化振興財団

〒310-0851 水戸市千波町東久保697

Tel. 029-241-1166 青柳・大黒
<https://www.ibarakiken-bunkacenter.com/>

今こそ届け!音楽のチカラ2020 いばらき応援コンサート

多くのコンサートが中止・延期となった現状を踏まえ、演奏機会が減っている茨城県内の若手演奏家への支援と、県民へ生の音楽を届けることを目的に、全4回シリーズのコンサートを開催。クラシック音楽やアルゼンチンタンゴ、ジャズなどさまざまなジャンルと多様な楽器でプログラムを構成し、演奏家による楽曲紹介を交えて多彩な音楽の世界を楽しめる。安心して利用できるよう、ホール内消毒の徹底や座席の制限などを行う。
[日程] 8月8日、16日、9月12日、21日
[会場] ザ・ヒロサワ・シティ会館

●茨城県水戸市

水戸芸術館
〒310-0063 水戸市五軒町1-6-8
Tel. 029-227-8111 高巢真樹
https://www.arttowermito.or.jp/hall/lineup/article_4222.html

Organ Odyssey 〜パイプオルガンとプロジェクションマッピングの華麗な共演〜

日本人の手でつくられたオルガンとしては国内最大級のパイプオルガンと、プロジェクションマッピングによる、見ても聴いても楽しいコンサート。新時代のオルガニスト、石丸由佳の演奏と、プロジェクションマッピングを手掛ける空間演出デザイナーのイシイキヨコとのコラボレーションにより、宇宙にちなんだ多彩なプログラムと色彩豊かで幻想的な世界が楽しめる。
[日程] 8月21日、22日
[会場] 水戸芸術館 エントランスホール

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

●群馬県高崎市

群馬県立近代美術館

〒370-1293 高崎市綿貫町
992-1 (群馬の森公園内)

Tel. 027-346-5560 田中龍也

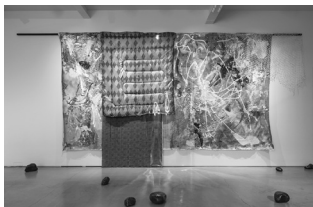
<http://mmag.pref.gunma.jp/>

絵画のミカター5人のアーティストとみる群馬県立近代美術館のコレクション

5人の現代作家(牛嶋直子、門田光雅、鬼頭健吾、佐藤万絵子、原游)の作品と、同館が収蔵する作品の中から彼らが選り出した絵画を展示。それぞれの作家が選んだ収蔵作品には選んだ理由や着眼点などコメントを添えて展示することで、日々絵画に向き合うアーティストの見方、感じ方を知ってもらう。なお、コロナ対策として入館の際、検温と来場者の連絡先の確認を行っている。

[日程] 6月27日～8月23日

[会場] 群馬県立近代美術館



鬼頭健吾《cartwheel galaxy》(2019年/個人蔵) 撮影:木暮伸也
写真提供:rin art association

●さいたま市

埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1

Tel. 048-824-0111 大浦・佐原

<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

New Photographic Objects 写真と映像の物質性

メディアの物質性を重視した独自のアプローチによって、写真や映像表現の新機軸を打ち出しているアーティストに着目。著しい速度で変化する現代の写真表現・映像表現の一断面をとらえ、今日の視覚環境について、深く考えを巡らせる機会とする。なお、これまで常時展示していた同館コレクションの椅子については自由に座れる椅子の数を減らし、建物の外から鑑賞できる展示を行っている。

[日程] 6月2日～9月6日
[会場] 埼玉県立近代美術館

●さいたま市

うらわ美術館

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-5-1 浦和センチュリーシティ3F

Tel. 048-827-3215

<https://www.uam.urawa.saitama.jp/>

Art into Life

4月から8月まで予定されていた開館20周年記念展の中止に伴い、「Art into Life」をテーマに“日常にアート”を見出すためのコンテンツを発信する。うらわ美術館と多くの人が繋がるための“場”として、ティザーサイトを開設。展覧会とは違ったカタチでアートとふれあい、アートの可能性を再発見できる、SNSやYouTube等を利用した多彩な10のプロジェクトを展開している。

[日程] 5月8日～

●東京都世田谷区

世田谷美術館

〒157-0075 世田谷区砧公園1-2

Tel. 03-3415-6011 橋本善八

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

作品のない展示室

美術館本来の在り方が問われ、展覧会等の事業を見つめ直している現状を考慮し、展示室に作品を置かず、内井昭蔵設計による開放的な建築空間と窓に広がる砧公園の緑豊かな自然環境を楽しんでもらう企画。期間中は、「建築と自然とパフォーマンス」と題して、ユニークな建築

空間と館外の自然環境を活かしつつ行われてきた約400本のパフォーマンスアーツプログラムの一端を、記録映像や資料などで振り返る。

[日程] 7月4日～8月27日

[会場] 世田谷美術館

●東京都武蔵野市

吉祥寺シアター

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-33-22

Tel. 0422-22-0911 大川智史

http://www.musashino-culture.or.jp/k_theatre/

吉祥寺からっぽの劇場祭

コロナ禍で“からっぽ”となった劇場の姿をきっかけに、これからの劇場の在り方を考え、実践するプログラム。屋上やロビー、奈落をはじめ、劇場空間ほぼすべてを活用しながら、複数のアーティストが作品を滞在製作・発表する。加えて、オンラインを交えたシンポジウムを開催するなど、劇場に入れなくても、映像配信を通じて劇場の新しい魅力を発見できる試みが充実。

[日程] 7月23日～8月9日

[会場] 吉祥寺シアター

●東京都調布市

調布市文化・コミュニティ振興財団

〒182-0002 調布市仙川町1-21-5

Tel. 03-3300-0611 萩原景子

<https://www.sengawa-gekijo.jp/>

せんがわワークショップフェスティバル2020

表現する楽しさを体感し、日常生活を豊かにするためのコミュニケーション力・創造力を引き出すことを目的とした短期のワークショップを開催。全11種類で、「赤ちゃんといっしょにげきごっこ」「出会いのレッスン!～飛び出せコミュ障～」など、対

象年齢や興味に応じたプログラムを自由に選択することができる。一部プログラムはオンラインを活用して実施する。

[日程] 8月4日～11日、9月7日～13日、11月1日～8日

[会場] 調布市せんがわ劇場、仙川駅前公園

●横浜市

神奈川県文化課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

Tel. 045-285-0219 青木健二

<https://kaihouku.pref.kanagawa.jp/>

バーチャル開放区

文化芸術の魅力で人を引きつけ地域のにぎわいをつくり出す「マグカル」(マグネット・カルチャー)の一環として、日曜日の歩行者天国の一部を文化芸術の自由な発表空間として開放している「マグカル開放区in日本大通り」。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため場所を県庁前の路上からインターネット上に変え、「バーチャル開放区」として開催する。医療従事者等のエッセンシャルワーカーへの感謝をテーマにした作品動画を募集して配信。再生回数が上位の動画を選考し、表彰する。

[募集期間] ～7月31日

[閲覧期間] ～8月31日

北陸・中部

●福井県福井市

福井県文化振興事業団

〒918-8152 福井市今市町40-1-1

Tel. 0776-38-8288 山口透磨

<https://www.hhf.jp/>

次代を担う名手たちの饗宴 TRIO AXIS

「TRIO AXIS」は、佐久間聡一(ヴァイオリン)、生野正樹(ヴィオラ)、奥泉貴圭(チェロ)によって2019年に結成された弦楽トリオ。ホールレジデントアーティ

ストとして、交流会や子どもたちへの楽器指導など、福井県内各地で弦楽・室内楽の発展を目的とした活動を展開している。今回は、藤田真央(ピアノ)をゲストに迎え、R.シュトラウス「ピアノ四重奏曲」を披露する。
[日程] 7月31日
[会場] ハーモニーホールふくい

●静岡市

静岡県舞台芸術センター
〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1
Tel. 054-203-5730 計見葵
<https://spac.or.jp/2020-6/rodoku>

噂のSPAC俳優が教科書朗読に挑戦!〜こいつら本気だ

静岡県内の小・中学校、高校の国語の教科書に掲載されている小説や詩をSPAC俳優がさまざまなアプローチで朗読し、その動画を公式YouTubeチャンネル「SPAC reading」で配信。6月8日に第1弾として50本の動画が公開され、その後も続々と新作が登場している。ラインナップは中島敦『山月記』(読み手:阿部一徳)、芥川龍之介『少年一海』(読み手:大高浩一)など。
[日程] 6月8日〜

●名古屋市

愛知県文化振興事業団
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
Tel. 052-971-5609 山本麦子
<https://www.stage.aac.pref.aichi.jp/>

鑑賞&レビュー講座2020

【前期 オンライン・ゼミ】

公演中止や延期が続くなか、公演ができない今だから体験できる学びもあるのではないかと考えた下、「鑑賞&レビュー講座2020」の前期をオンラインで開催している。全4回シリーズの第3回(8月5日)は「読みたくなる・読ませたくなるライティング」、第4回(8月19日)は「知っ

ておきたいダンス史・批評史」を開催。レビューや批評を書くための実践的なプログラムとなっている。

[日程] 8月5日、19日

[会場] 愛知県芸術劇場

●愛知県豊橋市

穂の国とよはし芸術劇場PLAT
〒440-0887 豊橋市西小田原町123

Tel. 0532-39-8810 上栗陽子

<https://toyohashi-at.jp/>

ままごと「LANDMARK/ランドマーク」プロジェクト『恋と演劇について-Tからの手紙-』

「万全の状態では舞台芸術の公演をお届けできない今できること、そして今だからこそ感じ取れる演劇の形を」との思いから、劇団「ままごと」と共に、劇場をランドマーク(目印)にして再会を生み出すプロジェクト「LANDMARK/ランドマーク」を立ち上げる。その第一弾は劇場から届く4通の手紙によって上演される演劇。作・演出はままごと主宰の柴幸男。約半年間にわたる、手紙ならではの時間を贅沢に使った内容となる。

[日程] 8月1日〜2021年2月28日

●愛知県知立市

ちりゅう芸術創造協会
〒472-0026 知立市上重原町間瀬口116

Tel. 0566-83-8100 堀川克磨

<https://patio-chiryu.com/>

立体パノラマ絵草紙

『おさき玉城恋の八橋』

知立の伝統芸能である「山車文楽」の新作プロジェクト。文人「八橋売茶翁」により知立にもたらされたと伝承される琉球古楽器「長線(ちゃんせん)」から着想を得たオリジナルストーリー。前半は、語り手ソリストや市民参加の群読たちによる、長線の由来や琉球と知立の繋が

りを物語として紡いでいき、後半を文楽で上演する新たな舞台創作となっている。なお、コロナ対策のため座席数は通常の3分の1程度としている。

[日程] 8月22日、23日

[会場] パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)花しょうぶホール



『おさき玉城恋の八橋』©中川幸作

近畿

●滋賀県大津市

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
〒520-0806 大津市打出浜15-1
Tel. 077-523-7150 古川恵理
<https://www.biwako-hall.or.jp/>

びわ湖ホール声楽アンサンブル

美しい日本の歌

日本初の公共ホール専属声楽家集団として1998年に設立されたびわ湖ホール声楽アンサンブルと京都フィルハーモニー室内合奏団による、昔ながらの曲を懐かしむコンサート。小さい頃に聴いた童謡や日本の四季を鮮やかに浮かび上がらせる唱歌、昭和や平成の時代を彩った歌謡曲を予定。コロナ対策として、座席を千鳥配席としている。
[日程] 8月10日
[会場] 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール

[日程] 8月10日

[会場] 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール

●京都市

ロームシアター京都

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

Tel. 075-771-6051 寺田貴美子

<https://rohmtreatrekyoto.jp/>

ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU”中川裕貴「アウト、セーフ、フレーム」

若手アーティストの発掘と育成を目的に、ロームシアター京都と京都芸術センターが協働して行う公募制の創造支援プログラム“KIPPU”。3年目の今年は3組を選出。そのうちの1組で、チェロを使用した作曲・演奏・演出活動を行う中川裕貴が、独自に開発したチェロ奏法、ホール全体を巻き込む「スピーカー」、チェロの自動演奏機構などのテクノロジーを使用したコンサートを上演。

[日程] 7月31日〜8月2日

[会場] ロームシアター京都 サウスホール

●神戸市

神戸ファッション美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1

Tel. 078-858-0050 中村圭美

<https://www.fashionmuseum.or.jp/>

特別展「Treasures of Fashion ヴァレリー・スティールの審美眼」

ニューヨーク州立ファッション工科大学ミュージアムのディレクター兼チーフキュレーターのヴァレリー・スティール氏が神戸ファッション美術館の所蔵作品を独自の視点からセレクトした展覧会。「ロココ」「シャネルと彼女のライバルたち」「日本と西洋のファッション」「ファッション: イメージと対象」の全4章から成り、華麗な宮廷衣装や貴重なファッション写真など約150点を展示する。

[日程] 5月19日〜8月30日

[会場] 神戸ファッション美術館

●兵庫県西宮市ほか

西宮市フレンテホール

〒662-0911 西宮市池田町11-1

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

フレンテ西宮5F

Tel. 0798-32-8660 衣川大輔

<https://frentehall.jp/>

クラシック音楽謎解きミステリー 音楽探偵バッハの事件録

西宮市フレンテホールが昨年
から実施している人気シリーズ
企画。観客が謎解きに参加し
ながらクラシック音楽の知識
を深め、後半には本格的なコン
サートを楽しめる。同館では
モーツァルトをテーマにした第3
弾を上演するほか、生誕250年
を迎えるベートーヴェンがテー
マの第1弾を県内の2館で再演
する。なお、当初4月に上演予
定だった第3弾については、よ
り公演を楽しめる動画を作成し
YouTubeで配信中。

[日程・会場] 8月22日：やしろ
国際学習塾L.O.C.ホール／9月
21日：西宮市フレンテホール／
12月6日：三田郷の音ホール

●兵庫県豊岡市

豊岡演劇祭実行委員会

toyooka.theaterfestival@gmail.com

<https://toyooka-theaterfestival.jp/>

豊岡演劇祭2020

Toyooka Theater Festival

平田オリザが総合ディレクター
を務める国際演劇祭。昨年の
プレ開催(第0回)を経て正式ス
タートを迎えたが、コロナ禍の
影響により当初の予定を大幅
に変更し、海外招聘演目の中
止、国際共同制作作品の内容
変更などを行った上で正式に開
催が決定。青年団や鈴木忠志
演出の演目のほか、Q、五反田
団、マームとジプシー等が参加
する公式プログラム、若手カン
パニーによるフリンジプログラム
などにより構成され、パフォー
ミングアーツと豊岡市の自然や特
産物を楽しめる観光とを連動さ
せたリゾート型の演劇祭となっ
ている。フェスティバルの中心と
なるJR江原駅前にはカフェが

設置され、集まった演劇ファン
やアーティスト、ジャーナリスト
たちが一堂に会し、見た演劇に
ついて熱く語り、情報交換を行
う場所となる予定。なお演劇祭
独自の詳細な新型コロナウイルス
感染症対策ガイドラインも作
成している。

[日程] 9月9日～22日

[会場] 江原河畔劇場ほか

中国・四国

●鳥取県鳥取市

鳥取県地域づくり推進部文化
政策課

〒680-8570 鳥取市東町1-220

Tel. 0857-26-7843 富田美加

<http://www.dentou-geinou.net/>

第11回とっとり伝統芸能まつり

県内各地の伝統芸能が一堂に
会する伝統芸能まつり。出演
者は子どもから高齢者までさ
まざま、[「しゃんしゃん傘踊り」
や「麒麟獅子舞」など各地域の
踊りや舞、神楽や囃子が披露
される。コロナ対策のため無観
客で実施され、YouTube特設
サイトにてライブ配信予定。

[日程] 8月29日(13:30～16:00
ライブ配信)、9月4日(18:00か
ら再配信)

[会場] とりぎん文化会館

[配信URL] https://www.youtube.com/channel/UCNjgAkaair6PWBw_OrVGLrg



第10回とっとり伝統芸能まつりの様子
「鬼面太鼓」(鳥取県西伯郡伯耆町)

●高知県高知市

高知県立美術館

〒781-8123 高知市高須353-2

Tel. 088-866-8000 天野圭悟

<https://moak.jp/>

高知県立美術館コレクション展 星加コレクション・映画ポス ター展

高知市の映画研究家・星加敏
文氏が収集したポスターなどの
映画グッズ、映画館で使用する
宣伝用パネルや写真、関係者
しか集められない映画の台本
やプレスリリースまで28,000点
以上にのぼるコレクションが展
示される。今回は収蔵されてい
た星加コレクションの中から映
画ポスターに焦点を当て、大正
から平成までの映画文化、星
加コレクションが整理された過
程についても紹介。

[日程] 6月10日～8月2日

[会場] 高知県立美術館

九州・沖縄

●熊本市

熊本県立劇場

〒862-0971 熊本市中央区大

江2-7-1

Tel. 096-363-2235 黒木正美

<http://www.kengeki.or.jp/art-channel>

ケンゲキアートチャンネル

熊本県立劇場は公式YouTube
チャンネル「ケンゲキアートチャ
ンネル」を開設し、動画配信を
開始した。スタートアップ企画
として、熊本県内の文化芸術
団体や県内在住または出身の
アーティストから動画作品を募
集する「#おうちで拍手を!」を
配信。そのほか、熊本県内に
伝わる伝承芸能や、毎年夏休
み期間中に実施している劇場
バックステージツアー「行くぜ!
劇場探検隊」の映像版を配信し
ている。

[日程] 6月20日～



「#おうちで拍手を!」(チアーズ・トリオ)

●大分県大分市

iichiko総合文化センター

〒870-0029 大分市高砂町2-33

Tel. 097-533-4004 工藤茂

<http://www.emo.or.jp/>

iichikoグランシアタ・ジュニア オーケストラ 第11回定期演奏会

ベートーヴェン生誕250年を迎
える2020年に、大分県内のオー
ケストラ関係団体とともに、年
間を通じてベートーヴェンの交
響曲第1番から第9番までの全
曲を演奏するプロジェクト「ベ
ートーヴェンチクルス」を開催する。
第1弾の今回は、小学4年生か
ら22歳までの約40人の団員が、
梅田俊明の指揮で「交響曲第1
番」などを披露する。

[日程] 8月10日

[会場] iichiko総合文化センター

iichikoグランシアタ

講座・シンポジウム

YCAMオープンラボ2020

「続・ナマモノのあつかいかた」

アートやテクノロジー、研究開発
のあり方をとらえ直すオンライ
ンのトークイベント。ヨーロッパ
やアフリカ、アジア、オセアニア
など国内外からパイオテクノロジー
に関する研究者、アーティスト
などをゲストに迎え、新型コロナ
ウイルス感染症の世界的流行
に直面する中での各国の状況
や、取り組みについてYCAMイ
ンターラボのメンバーとアーティ
ストユニットcontact Gonzoの
塚原悠也がトークセッションを
行う。各プログラムはYouTube
で無料配信され、後日YCAM
ウェブサイトで公開している。

[日程] 6月7日～8月2日

[会場] オンライン

[問い合わせ] 山口情報芸術セン
ター[YCAM]

Tel. 083-901-2222

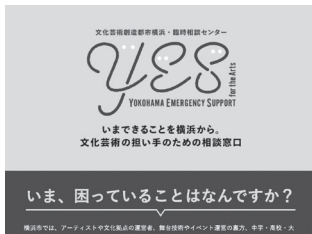
[https://www.ycam.jp/events/2020/
openlab/](https://www.ycam.jp/events/2020/openlab/)

▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げて
レポートします

横浜市

文化芸術創造都市横浜・ 臨時相談センター 「YES!」



文化芸術創造都市横浜・臨時相談センター
「YES!」 <https://covid19.yafjp.org/yes/>

*1 クリエイティブ・クラス
アメリカの脱工業化社会における経済成長を牽引する従事者としてリチャード・フロリダ(経済学者、社会学者)が著書「クリエイティブ資本論」(2002年)で提唱した概念。

*2 アーツコミッション・ヨコハマ(ACY)
2007年に横浜市の文化芸術創造都市施策の一環としてスタート。財団法人横浜市芸術文化振興財団(2009年に公益財団法人化)が市からの補助を受け、横浜で活動する創造やイノベーションの担い手をサポートする中間支援事業「アーツコミッション・ヨコハマ」を開設。現在は、「芸術文化と社会を横断的に繋いでいくための中間支援プログラム」として、開設当時から取り組んできたワンストップ相談窓口(2007年～18年度末までで1,886件)、芸術不動産(建築家、デザイナー、アーティストなどへの遊休不動産の紹介)、文化芸術創造都市・横浜プラットフォーム(2016年～。クリエイター、企業、行政、市民を横断的にマッチングするネットワークング事業)、関内外OPEN!(2009年～。クリエイターのスタジオや事務所などを一般開放する交流イベント)、横浜市クリエイターデータベース、WE BRAND YOKOHAMA(2018年～。年3回。太刀川英輔がコーディネートし、横浜で活動する幅広い分野のイノベーターが集まるワークショップ)、助成事業などを展開。

文化庁が新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている文化芸術分野への支援策をとりまとめ、最新情報をHPで公開している。同庁の令和2年度2次補正予算ではフリーランスを含む個人事業者、小規模団体への活動継続支援も打ち出されるなど対応が進んでいる。地方公共団体による支援策も続々と動き始めているが、そのなかで注目されるのが横浜市によるアーティスト、クリエイター、文化産業従事者に向けた対面式のオンライン相談事業だ。

同市では、2004年から文化芸術・観光振興による都心臨海部の活性化を目指す文化芸術創造都市施策を推進してきた。そのなかで、歴史的建造物や空きオフィスなどを転用し、クリエイティブ・クラス^{(*)1}と呼ばれる事業者、団体、人(クリエイター、アーティストなど)を誘致する「創造境界形成事業」に取り組み、日常的に活動の相談に乗ってきた。その窓口として開設されたのが、市からの補助を受けた横浜市芸術文化振興財団のアーツコミッション・ヨコハマ(ACY)^{(*)2}だ。

彼らとのネットワークや相談事業のノウハウがあるACYでは、市の補正予算を受けて緊急相談窓口の特設サイト「YES!(Yokohama Emergency Support for the Arts)」をオープン。事前予約により会計士、税理士、弁護士、社会保険労務士、中小企業診断士など20人の専門相談員がオンラインで個別の無料相談にに応じている。ACY開設当時から相談業務に携わってきた財団の杉崎栄介さんは次のように話す。

「アートNPOが運営するBankART、急な坂スタジオ、黄金町エリアマネジメントセンター、60組のアーティストやクリエイターが入居する北仲ブリック&ホワイトなど、創造都市政策によりオルタナティブスペースや民間のプレイヤーが横浜にどんどん増えていった。彼らの相談を受けてきたACYとして市にその強化を提案した。

4月に関係者にヒアリングし、やったことのない“士業相談”を核にしたいと考えた。新たな専門家と組む必要があるため、ヨコハマ国際映画祭のスタッフでもあったNPOArts and Lawの作田知樹さん(行政書士)に相談。作田さんと、

起業家支援をしているmass×mass関内フューチャーセンターの治田友香さん(ファウンダー)にパートナーとして事務局に参加してもらい、5月から事業をスタートした。

相談員とはZoom会議を通じて趣旨や最新支援情報を共有。相談員が初めて個別相談を行うときには対応の内容を確認するために事務局も立ち合った。事務局では定期的に相談者と相談員のマッチングやケースワーカー会議のようなミーティングも行っている。6月30日現在で85件の相談申し込みがあったが、文化芸術を生業としている人からがほとんどだった。

相談内容は、大きく分けると①資金(支援情報や申請書の書き方や提出書類について)、②法務(映像配信に関わる著作権や自分たちの活動の知財的評価について)、③オンライン活動、④アマチュア活動の4つだ。①は求めている資金が生活保障なのか、休業補償なのか、文化芸術活動支援なのかを確認するところから始まり、生活保障に関わることだと社会福祉協議会を案内することもある。個人事業主開設届をしたほうがいいのか、決算や確定申告を業の報告書としてどうすればいいかなど、これまで何となくやってきたことを意識的にしなければという思いが窺われた。②は本番がなくなった音響技術などの専門家がどうすれば専門技術で収益を得られるようになるかといった起業相談、③は教室を開設していた指導者に対するオンライン指導などへのアドバイス、④は吹奏楽部の子どもが練習・発表の場をなくしたという保護者からの相談など多岐にわたる。いずれにしても新型コロナウイルス時代の基本はこれまでの固定化された考え方を変え、新たなマインドセット、ポートフォリオをどう構築していくかになる。

今回痛感したのは、緊急支援を適切に行うためには日頃から地域の状況を把握し、いざとなったら動ける野球のロースターリスト(登録選手枠)のようなものが必要だということ。創造境界形成事業から出発したACYも13年目で、近年では企業の相談なども増えてきた。これから地域との連携を深め、“芸術と社会を繋ぐ”方向を模索していきたい」(坪池栄子)